

1 議題 「お楽しみ会をしよう」

2 児童の実態と議題選定の理由

本学級は「笑顔満開 ルールをしっかりと守る 元気な3年\*組」を目指し、心を一つにして生活をしてきている。学級会は、計画委員会を中心に1学期から繰り返し取り組んできており、話合いの進め方を確認したり、活動中の声かけを続けたりしてきた。これにより、友達の話聞く態度や発表の仕方も身に付いてきた。

児童から、みんなのことがよく分かり、みんなが楽しいと思うことは何かという話題になり、「お楽しみ会を開きたい」という意見を学級活動として取り上げることになった。友達のことをもっとよく知ることは、互いに思いやる気持ちにもつながり、さらに協力することにつながる大事なことと考え、本議題を設定した。実践を進めるに当たっては、内容ももちろんだが、準備でかかわり合う時間も、互いを知る活動として大事にしていきたい。また、このお楽しみ会が自分たちの願いが詰まった学級目標の達成に関わることを、気付かせていきたい。

3 評価規準と目指す児童の姿

観点	集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
評価規準	学級の諸問題に関心をもち、友達と協力して意欲的に取り組もうとしている。	楽しい学級生活を送るために話し合い、自己の役割や集団としてよりよい方法について考え、判断し実践している。	話合いの方法や活動の進め方が分かり、生活上の諸問題の解決方法を理解している。
目指す児童の姿	<p>計画委員は、自分の役割を理解し、進んで話合いの活動計画について考え、準備しようとしている。話合いの際には友達の発言に耳を傾け、解決ができるようにまとめたり、分類したりしようとしている。</p> <p>意見を出す児童は、めあてに沿った意見を考え、発言し、よりよいアイデアが提案できるようにしている。決まったことについては、みんなで計画的に実践することの必要性や方法について理解し、お楽しみ会を計画・実践しようとする。</p>		

4 活動と指導の見通し

	活動内容	いつ	指導・支援	目指す児童の姿と評価方法
話合いの準備	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画委員会をもち、今回話し合うことを知る。</li> <li>全員が議題や提案理由を知り、各自が意見をもつ。</li> <li>話合いの柱立てを決め、活動計画を作成する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>業間休み</li> <li>朝自習の時間</li> <li>業間休み</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>みんなが楽しめるお楽しみ会を、考えるように話す。</li> <li>学級会ノートに自分の思いや考えを書き込めるように、シートを工夫する。</li> <li>決まっていることを明確に伝える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画委員として学級会に向けて進んで準備している。 (関心・意欲・態度)[観察]</li> <li>提案理由から議題を理解し、学級会へ意欲をもとうとする。 (関心・意欲・態度)[観察]</li> <li>学級会ノートに、みんなが楽しめるアイデアを書こうとしている。 (思考・判断・実践)[ノート]</li> </ul>

話し合い	お楽しみ会をしよう	学級活動	本時の展開参照	
実践	・学級全員で協力し、計画や準備を進め、お楽しみ会を実践する。	学級活動	・ねらいを確認し、みんなで協力して取り組めるように助言する。	・自他の役割を考え、協力し合ってお楽しみ会を実践している。 (思考・判断・実践) [観察]
振り返り	・お楽しみ会を振り返り、気付いたことや、次回のお楽しみ会で生かしていきたいことを出し合う。	朝の会	・活動の振り返りを行い、頑張ったことを認め合い、気付くことができるようにする。	・自他の頑張りや問題について考え、次に生かす点を見いだしている。 (思考・判断・実践) [観察]

## 5 本時の展開

### (1) 本時のねらい

- 友達の考えを受容的に聞き、自分の考えと比べながらよいところを取り入れて発表することができる。
- 話し合いの進め方やまとめ方を理解することができる。

### (2) 児童の活動計画 (略)

### (3) 指導計画

話し合いの順序	指導上の留意点	目指す児童の姿と評価方法
1 はじめの言葉 2 計画委員の紹介 3 議題の確認 4 提案理由やめあての確認 5 話し合い ① どんな遊びをするか。 ② ルールをどうするか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・机をコの字にして、話しやすいように場を設定する。</li> <li>・自分の考えを学級会ノートにまとめておき、話し合い活動で活用していく。</li> <li>・進んで発言できない児童に対しては個別に助言する。</li> <li>・「出し合う」「くらべる」「まとめる」という流れを踏まえて展開させていくことを理解させる。</li> <li>・司会者と協力し発言者が偏らないように、意図的に指名するなどして発表できるようにする。</li> <li>・司会グループの頑張りや称賛し今後の活動への意欲付けをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意見を出す児童は、めあてに沿った意見を考え、発言し、よりよいアイデアが提案できるように考えている。 (関心・意欲・態度) [観察]</li> <li>・話し合いの進め方やまとめ方を理解している。 (知識・理解) [観察]</li> </ul>
6 決まったことの確認 7 先生のお話 8 終わりの言葉		

## 6 事後指導

- ・決まったことを実行できるように、学級全員が協力的な態度でお楽しみ会に参加できるように、見守っていく。
- ・計画に沿ってお楽しみ会ができたことを称賛し、次回のお楽しみ会や話し合い活動に生かしていく。